

# 桜工

2007



## 目次

### 巻頭言

21世紀初頭における理工学部の近未来像  
「越智 光昭」……………2

### 特集「理工学部のブランド化」

日本大学理工学部のブランド価値の向上について  
「廣谷 彰彦」……………3  
ブランド力向上のための意識改革「三ツ木直樹」……………4  
大学全入時代の到来がもたらす功罪  
「下川 澄雄」……………5  
ブランドとは変えてはいけないもの  
「高橋 啓輔」……………6  
“構造の日大”という伝統と歴史、そして継承  
「北嶋 圭二」……………7

### 世界にはばたく!!

潮流発電指導の旅(台湾訪問) 「木方 靖二」……………8  
超小型人工衛星開発プロジェクト「宮崎 康行」……………8

### 理工学部NEWS ……………9

第4回全日本学生フォーミュラ大会の活動を振り返って/  
「日本大学理工学部 第1回不動産鑑定士実地演習」がスタートしました/  
社会交通工学科が理工学部で初のJABEE認定プログラムとなる/  
準硬式野球部 全国大会ベスト4! /文科省の「平成18年度現代GP  
(テーマ2)」に採択されました /1日体験入学 /NEDO(研究開発  
プロジェクトのコーディネーター) /衛星設計で大賞を受賞

### 校友会NEWS ……………12

平成18年度理工学部校友会奨学生証書授与 /工科系校友会連絡会・  
工科系校友会支部長会 開催 /理工学部・理工学部校友会連絡会開催 /  
各部会講演会活動報告 /箱根駅伝で準優勝 /個人情報保護対策について  
理工学部学術賞等受賞者 — 研究の楽しさ — ……………15

高瀬 浩一 /西見 涼香 /初山 富士男 /大淵 一央 /宮司 真希 /吉野 泰子  
入試・就職 ……………21

### 学生自身の就職活動 ……………23

高橋 敏彰 /中村 俊之 /景山 あずさ

### 部会だより ……………24

土木・建築・機械・電気・工化・交通  
精密・物理・数学・海建・航空・電子

### 地方・職域支部活動報告 ……………28

### 支部・クラス会だより ……………30

### 事務局だより ……………32

(事務報告・収支報告等・会費納入者名簿・事務室移転)

### 平成18年度第十八回「桜工賞」受賞者 ……………34

### 手づくりの地球環境建築 ……………35

### NEDO（研究開発プロジェクトのコーディネーター）

物質応用化学科 資源利用化学研究室 平野 勝巳

平成13年度に本学に着任して以来、廃木材等木質バイオマスの熱分解油化、廃食材等動物油脂のエステル交換による油化、原油蒸留残渣等の水素化分解油化など、未利用炭化水素資源のエネルギー転換に関する研究を行っている。このうち木質バイオマスの熱分解油化の研究が、本年度新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）のバイオマス先導技術開発プロジェクトに採択された。

本学着任以前はNEDOの瀝青炭液化技術開発（サンシャイン計画）に従事し、エネルギー需給の国際的安定化を模索していたが、本学で上記研究を行ううちに工場、市町村などの小さな系でエネルギー収支を取ることの重要さに気付いた。特に、転換対象を廃棄物とする場合は集約とそこ

で求められるエネルギーの種類が問題になることは、石油や石炭など大規模エネルギー資源を研究対象としていた者には盲点であった。

大学が競争環境にさらされる中で独自性や社会化が求められているが、本研究のような組織力を生かした学内連携（機械工学科・吉田教授との共同研究）、および企業との地域連携（JFEテクノリサーチ（株）との共同研究）が評価されたことは、これらに対する本学の回答の一つになり得るかも知れない。

NEDO (New Energy and Industrial Technology Development Organization) 日本の産業技術、エネルギー環境技術の研究開発とその普及を推進する中核的実施機関。産学官の総力を結集して、優れた研究成果を生み出すための研究開発をトータルコーディネートしている。

### 衛星設計で大賞を受賞

第14回衛星設計コンテストが平成18年10月29日、都立産業技術高専で行われ、「設計の部」で理工学部4年山崎政彦君ら10人が製作した衛星「PRIMROSE」が、最優秀作品に与えられる設計大賞を受賞した。

このコンテストは、日本機械学会・日本航空宇宙学会な

どが主催しており、全国の大学生や高校生などを対象に宇宙への研究機会を提供し、わが国の宇宙開発のすそ野の拡大を目的としている。また、この功績を讃え理工学部校友会 桜工賞 団体賞も授与された。（P34に掲載）

## 校友会NEWS

### ◆平成18年度理工学部校友会奨学生証書授与

平成18年度奨学金は平成18年7月4日（火）に、駿河台校舎9号館4階特別会議室にて、越智理工学部長・沼尻理工学部校友会会長同席のもと授与された。今回は「日本大学古田奨学生」、「日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生」、「日本大学オリジナル設計奨学生」とともに授与式が行われた。

《平成18年度理工学部校友会奨学生》

内山 優作 大下 泰明 中野 義基 栗林 祐也  
白鳥 浩樹 利守紗千子 高島 隆太 小泉明日美

《日本大学古田奨学生》

君塚 磨

《日本大学ロバート・F・ケネディ奨学生》

角田 雄亮

《日本大学オリジナル設計奨学生》

原 浩之 神原 隆佑





春爛漫 新入生を待ちうける（先端材料科学センターより）

## 編集後記

「超戦国駅伝」をテレビ観戦しながら、桜工でも特集している「ブランド」について、思いをいたした。

「箱根といえば、日大でしょう」、「鳥人間コンテストといえば、日大でしょう」「バッグといえば、Vでしょう」。また、S社は電池の不具合事故で、H社はタービンの損傷事故で、ブランドの信頼を失った。信頼の回復は容易でない。「伝統、技術、保証」の三位一体で社会から信頼を得ることがブランドである。伝統を守る＝京都の清水寺は400年後に建替えが必要になる、その時に備えて、数年前から植林を始めている。なんとも夢のあるプロジェクトである。技術＝資源と環境維持の技術が、人類持続の鍵を握るという、未来への備えを怠ってはならない。植林も日々の手入れを怠れば、大木には育たない。保証＝再教育プログラム、大学全入時代に生き残るためにW大学では、理工学部を「基幹理工」、「創造理工」、「先進理工」に再編するという。

我が理工学部の「ブランド」力をさらに高め、世界の未来を担う若きエンジニアを育てるために、今こそ学内外の強い連携が期待される。まさしく「過去を活かして、より良い未来を創る（ブランドの条件 岩波新書）」ときである。（会誌副委員長 石山 元雄）

## 会誌委員

○委員長 ○副委員長

○鈴木 謙一 ○石山 元雄 ○西村 哲  
 生田 育良 岩井 茂雄 眞野 源吾 角 隆 澤口 孝志 浅井 朋彦  
 室伏 誠 下川 澄雄 小倉 正二 居駒 知樹 木村 元昭 高橋 芳浩

## 平成19年度通常総会開催予定

日時：平成19年6月22日(金)  
 会場：東京ガーデンパレス

- 住所表示・勤務先・TEL番号等の変更は事務局までご連絡下さい。
- クラス会等に「桜工」をお送りします。(実費・送料が必要となります。)
- クラス会開催の際は会合名・卒年・学科・開催日時・場所・参加人数等をお知らせ下さい。

※詳細・問い合わせ等は下記理工学部校友会事務局までご連絡下さい。

〒101-8308  
 東京都千代田区神田駿河台1-8-14  
 日本大学理工学部内 9号館11階  
 理工学部校友会事務局  
 TEL: 03-3259-0650 (江口・田中)  
 FAX: 03-3293-1370  
 ホームページアドレス  
<http://cstkk.zaiiv.net/~door>

平成19年3月25日発行

## 日本大学理工学部校友会

(日本大学工科学校友会)

編集・発行者 鈴木 謙一  
 〒101-8308  
 東京都千代田区神田駿河台1-8-14  
 電話 03-3259-0650  
 FAX 03-3293-1370  
 印刷所 株式会社トーコー印刷